

BIG AG-「食べる量を減らしなさい」

人は貧し過ぎてオーガニックの物を食べるができないという意見に、「食べる量を減らしなさい」と私は答えました。こういう人達は、私がオーガニックの物を食べると知っているからこんなことを言ったのだと思いました。そういう人達も、もし時間を割いて探してみれば、ジャンクフードに使うのと同じくらい安い金額でオーガニック食品を見つけることができるでしょう。ジャンクフードを食べる量を減らせば、立て続けにジャンクフードを体内に取り入れて体を破撃する代わりに、量を減らして、体に、それに対処する時間を与えることができます。野菜は簡単に消化されます。

秘訣は出来合いの食べ物に頼るのではなく、自分で自分の食事を用意することです。

しかしそのことがラジオで放送された時、「食べる量を減らす」ということがまるで私が、お腹を空かせている人や、ハンバーガーしか買えないような人達は食べる量を減らすべきだと言ったかのように、世に出てしまいました。

もちろん、貧しい人達には選択の余地が 全く ないわけです。

世界の半数以上の人達はお腹を空かせ、貧困は拡大しています。誰もがとても頭を悩ませているのです。だから人は私に怒ったわけです。私自身、話す時にもっと注意を払うべきだったと落ち込みました。

幸運にも、プレスが私のインタビューをフルで流してくれて、私が本当に言おうとしたことは何だったのかすっかりとさせてくれました。プレスは、私の言葉「地球に良い物は、人にとっても良い物である。」という言葉を採用してくれました。

最も重要なことに、プレスが、基本的な質問を掲示してくれました。Big Ag（農業の資本主義）は良いのか悪いのか。これは緊急で私たちが話し合えないといけないことです。

農業の資本主義と私たちが意味するものは、工場式農場経営のビジネスモデルを使って、資本主義が農業に準じることです。これは独占企業によって運営されています。その目的は利益です。この刺激的な生産方法がより効率的なのだと主張しています。しかしそれは投資と負債によって成り立っているのです。これら独占企業はグローバルネットワークの一部です。資本主義が終わりを迎えると、利益は、独占企業で終わりを迎え、その生産過程の下層に居る人達は、お払い箱となるのがはっきりと見えています。そしてここで、私たちはそういった農家の人達の話をしているのですが、私たちは農業を独占している企業が最高の食事を与えてくれるなんて受け入れてはいけません。私たちは事実に従って、また科学で示されているように、

より小さい農家の方が最高の食事を与えてくれるということに同意すべきです。自然を機械のように扱うことはできません。生物学的多様性を維持してくれるので、自然の方がより効率的なのです。生物学的多様性は害虫をコントロールし、土壌を豊かに保ってくれます。

地球上にある小さな農家は、経験と生きた知識の研究所のようなものです。より高い生産高を生じるために、科学はそれらと一緒に働くことができるわけです。「地球に良い物は、人にとっても良いものです。」

Big Ag（農業の資本主義）が出現し、それら研究所を一掃し、自身の経済モデルを押し付けます。資本主義—それは戦争で成り立つ経済です。**Big Ag**（農業の資本主義）の戦いは、どれも勝っているように見えますが、人や環境にとっては悪いのです。なぜ彼らは止めないのかしら。彼らが戦争に負けているのは、見えているのに。私たちに残り残されたのは、スーパーバグ（超細菌）と砂だけです。

私たちがこのことを議論するのはとても重要なのです。ビル・ゲイツに言っよ。止めましようって。

ハンバーガーはどうしてそんなに安いのか？なぜならば負債によって援助を受けているからです。一つ例を挙げれば説明がつくでしょう。**フード・インク**という映画の中で、アメリカの養鶏農家がトウモロコシの独占製造業者と契約を結びます。業者は農家に、鶏の生産高を増やし、鶏を安く売るために、工場式農場にした方がより効率的なので、機械を導入するよう要求します。農家にその契約がある限り、銀行は農家にお金を貸します。毎年農家は2万ドルの収益を出すのですが、今となつては銀行におよそ200万ドルの借金があるのです。

銀行は利息で成り立っています。それなので負債を返済して欲しくはないのです。私が解析した**資本主義の終焉**を見て下さい。

YOU'LL NEVER LOOK AT DINNER
THE SAME WAY



FOOD, INC.

PARTICIPANT MEDIA AND RIVER ROAD ENTERTAINMENT PRESENT A FILM BY ROBERT KENNER "FOOD, INC." PRODUCED BY MARK ADLER, EDITED BY KIM ROBERTS, DIRECTED BY RICHARD PEARCE
PRODUCED BY ERIC SCHLOSSER, RICHARD PEARCE, MELISSA ROBLEDO, EXECUTIVE PRODUCERS WILLIAM POHLAD, ROBIN SCHORR, JEFF SKOLL, DIANE WEYERMANN, PRODUCED BY ELISE PEARLSTEIN
DISTRIBUTED BY RIVER ROAD ENTERTAINMENT
www.takepart.com/foodinc

MPAA PARENTAL STRONG LANGUAGE SUGGESTED
SOME MATERIAL MAY BE OFFENSIVE TO CHILDREN

RIVER ROAD
ENTERTAINMENT

participant
MEDIA